

■米国：TXU社とリライアント社、時間帯別料金メニューを開始

2009年11月7日付けのテキサス州地元紙によると、同州の大手電力小売会社（配電会社の設備を通じて需要家に電力を小売り）であるTXUエナジー社とリライアント社がそれぞれスマートメーターを利用した時間帯別料金メニューを開始した。両社とも夏季・冬季にピーク時とオフ・ピーク時の料金を設定するとしており、同州の配電会社オンカー社の供給エリアでスマートメーターが設置されている需要家が対象となる。TXU社はオフ・ピーク時料金とピーク時料金をそれぞれ1kWhあたり8.9セントと24.3セントに設定し、新メニューに参加する需要家には使用電力量が表示されるサーモスタット（室内温度調整装置）か、75ドル相当のギフトカードが配布される。一方リライアント社ではオフ・ピーク時料金を1kWhあたり11.7セントと固定しているものの、ピーク時料金は季節と平日・休日で変わるとしている。同社のピーク時料金は、冬季では午前6時～9時までと午後6時～9時までの間が13.9セント、また夏季においては、平日の午後12時～4時までが13.9セント、午後4時～6時までは14.4セントの料金が適用される。オンカー社は現在30万軒にスマートメーターを設置しているが、新メニューへの参加者数は明らかではない。オンカー社は2012年までに全需要家（750万軒）にスマートメーターを設置する予定である。